

原北・小田部校区の今昔

昭和48年当時の原北、小田部校区には、のどかな田園風景が広がっていました。

室見川河畔にそびえる集合住宅が福岡市住宅供給公社が造成・整備を行った室見団地です。13.5ヘクタールの農地を買収して、分譲、賃貸併せて1,134戸の住宅供給が行われました。

昭和56年の地下鉄1号線（空港線）、室見―天神間の開業を契機として、住宅地としてのポテンシャルが高まり、宅地化が進行しました。



昭和48年当時の原北・小田部校区の航空写真

